



平成 28 年 10 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
 代表者名 代表取締役会長兼社長 石川 隆一
 (コード番号 7719 東証第2部)
 問合せ先 執行役員 管理部長 石見 紀生
 (TEL. 03-5207-6760)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 4 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 平成 29 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	3,150	95	80	45	円 銭 0 63
今回修正予想(B)	2,657	174	155	123	円 銭 1 74
増減額(B-A)	△493	79	75	78	—
増減率(%)	△15.7	83.2	93.8	173.3	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	2,340	△56	△52	173	円 銭 2 43

(2) 平成 29 年 2 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	503	—	21	13	円 銭 0 18
今回修正予想(B)	395	—	22	38	円 銭 0 54
増減額(B-A)	△108	—	1	25	—
増減率(%)	△21.5	—	4.8	192.3	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	1,088	—	△68	△86	円 銭 △ 1 21

(3) 平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,400	150	120	65	円 銭 0 91
今回修正予想(B)	5,200	220	185	120	円 銭 1 68
増減額(B-A)	△200	70	65	55	—
増減率(%)	△3.7	46.7	54.2	84.6	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 28 年 2 月期)	4,800	3	9	114	円 銭 1 61

(4) 平成 29 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	886	—	35	22	円 銭 0 31
今回修正予想(B)	842	—	26	53	円 銭 0 74
増減額(B-A)	△44	—	△9	31	—
増減率(%)	△5.0	—	△25.7	140.9	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 28 年 2 月期)	1,475	—	△83	△106	円 銭 △1 49

2. 修正の理由

平成 29 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は全事業で前年同期を上回ったものの、中国経済の減速や為替変動による換算レート差を主因に海外事業が伸び悩むなど当初の計画に対しては未達となり、期初予想を下回る見込みであります。一方、損益面では、試験機事業において前期から継続して取り組んでいる製造原価マネジメント強化の施策により原価低減が見られ、海外事業においても生産体制の見直しにより原価改善が見られつつあることから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は期初予想を上回る見込みであります。

平成 29 年 2 月期通期連結業績予想につきましては、海外事業では、中国経済の動向や事業環境の回復の見通しは依然不透明で、同事業の中核である中国子会社の上半期の遅れを挽回することは困難な状況ではありますが、試験機事業においては、第 2 四半期以降受注環境に改善が見られ下半期後半に売上高・利益を着実に確保することができる見込みであることなどから、グループ全体では、売上高は期初予想を若干下回るものの、利益につきましては、上半期の好調を維持し期初予想を上回ると見込んでおります。

以上